



あなたの会社、「モノ言わぬモノにモノ言わすモノづくり」をしています??

ひろよしくのみみ
2023年8月号 No.408
<https://www.myfs.co.jp>



～ 企業の付加価値を高める方法はこれだ!! ～

先月梅雨明け前に、未曾有の豪雨が各地を襲いました。被害に遭われた地域の皆様にはお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念しています。

8月号の「ひろよしくのみみ」は、日経ビジネスに掲載されていた福岡のユニークな会社をご紹介したいと思います。

会社名は、久原本家グループ。久原本家グループは明治26年(1893年)創業の醤油蔵を原点にしていますが、①経営管理や戦略・立案・商品開発、品質保証を担う「久原本家グループ」、②製造を担う「久原本家食品」、③店舗・通販・飲食事業を担う「久原本家」、④量販店向け営業を担う「久原醤油」、⑤北海道において食品の製造販売を担う「久原本家北海道」、農業法人「美田」、⑥海外事業を担う「久原本家USA」によって構成されています。久原グループの沿革と創業者の河邊家の歴史を記載します。

久原本家グループと河邊家の沿革

年	トピックス
1893年	福岡県久原村(現久山町)の初代村長である河邊東介氏が醤油醸造業を始める
1920年	2代目河邊鐵太郎氏が家業を継承。韓国・満州に販路を拡大
1951年	久原調味料(現久原本家グループ本社)を設立
1965年	河邊龍二氏が3代目として社長に就任
1975年	小袋詰め商品の製造開始
1978年	現社長河邊哲司氏が久原調味料に入社
1980年	たれ・スープなどのOEM製造開始
1982年	福岡JC(青年会議所)に入会。地元百貨店岩田屋(現岩田屋三越)の創業家の中牟田健一と知り合い支持を得る。岩田屋に出店
1990年	椒房庵(現久原本家)を設立して、辛子明太子の製造販売開始
1999年	「キャベツのうまたれ」が調味料としてヒット
2000年	創業の地(久山町)に直営店舗をオープン
2005年	久山町にかやぶき屋根のレストラン「御料理 茅乃舎」をオープン
2006年	うま味調味料・保存料無添加の「茅乃舎だし」を通信販売開始
2010年	東京ミッドタウンに「茅乃舎東京ミッドタウン店」をオープン
2015年	ベトナムに進出
2016年	アメリカに進出
2019年	北海道アイ(現久原本家北海道)設立。22年北海道工場稼働

久原本家グループに河邊哲司氏が入社した時は、売上高6,300万円、従業員6人の福岡県内にある150社の醤油の醸造蔵の1社。

哲司氏が他社への就職を希望するも、父に「よその会社に入って修行をして帰って来る前に会社は潰れているかもしれない。今すぐ入社せよ!!」と説得される。友人宅で醤油が売れた時の感動は忘れられないとか。感謝、感謝!!

醤油の製造のみから脱却するため、焼肉餃子のたれなどを小袋に詰めて、OEMでの製造販売を開始。売上は伸びたが所詮下請けは下請けである事を痛感!!

付加価値の高い、自社ブランド品の開発を考えていた時に、岩田屋創業家の当時専務であったJC34代理店の中牟田氏からの声掛けもあり、最後発ではあるが博多辛子明太子の製造開発に着手

開発コンセプトにした、素材にこだわり北海道産の魚卵を使い続ける事で買い付けに成功!!(モノ言わぬモノにモノ言わすモノづくり)その良さを引き出すために味や辛さは控えめにした商品を開発。「椒房庵」という名前で販売開始。販売方法も直販方式ではコストがかかるので通販を模索するもこれも不調!!9年間赤字を続ける。

久原グループ発祥の地は、福岡の久山町(福岡市から車で40~50分)にありますが、この田舎である立地を利用して、久山町に2000年に「久山本店」をオープン。

この成功を得て、2005年にはさらに車で10分ほど奥まった場所に、「御料理 茅乃舎」をオープン。

現在は、百貨店・商業施設などに30店舗以上を展開する食品メーカーとして、従業員1246人、売上高303億円(2023年2月期ベース)に成長!!

あなたの会社、「モノ言わぬモノにモノ言わすモノづくり」をしています??